

# WEST LIFE

## 校長の目

令和8年1月20日(火)



今日は、暦（二十四節気）の上でいうところの大寒です。一年の中でもっとも寒さが厳しくなる頃にふさわしく、一日中冷たい北風が吹きつけていました。グラウンドでは、土埃も舞い上がり、しばしば旋風のように渦を巻いています。体育の授業は長距離走でしたが、向かい風になると心が折れそうになったことでしょう。そんな中でも、懸命に走る生徒たちは立派です。



1年生の家庭科は、地域の食材や食文化に関わる授業でした。いわゆる和食についての学習です。和食文化の豊かさは、世界中から注目を浴びているところですが、本単元は特に地域の食材に注目していきます。地産地消のよさとしては、「安い」「新鮮」「安心」などがあげられます。ちなみに、埼玉県特産の野菜は、ねぎ、ほうれん草、里芋など。ふじみ野市でいうと、やはりほうれん草や里芋があり、かぶも多く栽培されています。給食でも地域の野菜が多く使われたメニューになっています。本時は、日本の伝統的な食文化にも触れながら、和食のよさを見直して行きました。



英語の学習は、技能面のみでなく、国際理解教育の側面もあり、教科書にはたくさん外国文化が取り上げられています。3年生の授業を見に行くと、ALTが黒板にイギリスの地図を描いて説明しているところでした。イギリスは、日本と同じ島国であることから、よく比較されます。ただし、国の構成が、両国は全く違います。日本は、国内どこにいても日本ですが、イギリスは、かつての王国が集まってできた



国なので、UKやGBと様々な呼ばれ方をします。イギリス=Englandでないところが、私たちの混乱の元です。イギリスは、England（イングランド）、Wales（ウェールズ）、Scotland（スコットランド）、Northern Ireland（北アイルランド）の4カ国で構成されています。かつては、独立した4つの王国でしたが、現在はそれぞれに主権があるわけではなく、ある程度の自治権をもっている国となります。この4つを合わせてUK（United Kingdom）なので、イギリスを英語で言う場合は、UKといったほうが誤解が生じないでしょう。ちなみに、GB（Great Britain）については、大ブリテン島を構成する3つの国（England、Wales、Scotland）の総称となっています。オリンピックで国名をイニシャルで表すときには、GBが使われていますね。